

## NCGM 国際医療協力局の宮野真輔医師が 第 30 回日本国際保健医療学会 若手奨励賞を受賞しました

NCGM 国際医療協力局の宮野真輔医師が、「日本国際保健医療学会 若手奨励賞」を受賞し、11月21日～22日に開催された第30回日本国際保健医療学会にて表彰されました。

宮野医師は、ザンビア共和国において同国保健省が推進する「HIV エイズケアサービスを地方部へ展開するための国家政策」の立案、実施を支援しました。その政策評価として実施した研究（HIV エイズケアサービスが地方部において結核サービスに与えるインパクト研究）に関する 2 編の論文を英文学術雑誌に投稿し、さらにそれらが世界保健機関（WHO）が発行する「HIV エイズ感染予防、治療のための国際ガイドライン（2013）」にリファレンスとして採用されたことが評価され、今回の受賞となりました。



表彰される宮野真輔医師（右）

### 【受賞論文】

- 1) Miyano S, Muvuma S, Ishikawa N, et al. Healthcare provision for HIV co-infected tuberculosis patients in rural Zambia: an observational cohort study at primary care centers. BMC Health Services Research 2013, 13: 397.
- 2) Miyano S, Dube C, Kayama N, et al. Association between tuberculosis treatment outcomes and the mobile antiretroviral therapy programme in Zambia. Int J Tuberc Lung Dis 2013, 17(4): 540-545.

### 【日本国際保健医療学会とは】

1983 年に開かれた日本医学会総会において「発展途上国への医療協力」と題するシンポジウムが持たれたことがきっかけとなり、日本の国際医療協力の充実や発展を目指し、1986年に「日本国際保健医療学会」が発足。国際保健医療の進捗普及に貢献し、もって学術文化の発展に寄与することを目的としている。会員の職種は、医師、看護職（看護師、助産師、保健師）、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、救命救急士等、多岐にわたる。